



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月21日

上場会社名 S P K株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7466 URL <http://www.spk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 轟 富 和
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 中 田 陽 市 (TEL) 06-6454-2571
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	6,575	14.7	239	80.4	259	37.1	153	45.3
22年3月期第1四半期	5,730	△22.3	132	△51.7	189	△38.0	105	△39.9

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	28.90	—	—	—
22年3月期第1四半期	19.89	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	13,876	10,217	10,217	73.6	1,929.25	—	—	
22年3月期	14,266	10,208	10,208	71.6	1,927.58	—	—	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 10,217百万円 22年3月期 10,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	24.00	—	25.00	49.00	—
23年3月期	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	25.00	—	26.00	51.00	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	13,200	11.6	410	38.7	450	18.5	270	27.8	50.98	—
通期	27,500	9.9	900	15.1	1,000	7.4	600	15.8	113.29	—

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規－社（社名）－

除外－社（社名）－

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	5,296,900株	22年3月期	5,296,900株
23年3月期1Q	716株	22年3月期	617株
23年3月期1Q	5,296,234株	22年3月期1Q	5,296,283株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）2ページ「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、各国の景気刺激策効果と主要産業における輸出の増加により回復基調になってきました。国内自動車産業においてもエコカー減税、補助金制度等の販売促進効果により大きく落ち込んでいた自動車販売が昨年秋以降急速に回復してきました。自動車補修市場においても、新車販売の回復につれ、明るさを見せ始めてきました。

しかし、一方で欧州財政危機や不安定な米国経済から円高が加速し、株安の進行も相まって先行き不透明感が消えず、景気の二番底の懸念も残っております。

かかる状況下、当社国内営業本部は、得意とする軽自動車用の機能・消耗部品の販売に地道に取り組むと共に、環境に適した新規商材の開発・販売に努めました。その結果、売上高は40億92百万円となり、前年同期比5.1%の増収となりました。

海外営業本部は、世界同時不況の影響を受けた昨年度に比べれば徐々に成約が増えてきました。その結果、売上高は18億58百万円となり、前年同期比24.4%の増収となりました。

工機営業本部は、主要顧客である建機・産機メーカーの生産が増加するにつれ、売上も拡大し始めました。その結果、売上高は6億24百万円となり、前年同期比81.7%の増収となりました。

以上のような要因が重なり、当第1四半期までの経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は65億75百万円（前年同期比14.7%増）、利益面では、営業利益は2億39百万円（同80.4%増）、経常利益は2億59百万円（同37.1%増）、四半期純利益は1億53百万円（同45.3%増）となり、いずれも前年実績を上回りました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産合計は138億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億90百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は124億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億66百万円の減少となりました。これは主に商品が2億80百万円増加しましたが、現金及び預金が5億51百万円および売掛金が2億59百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は13億87百万円となり、前連結会計年度末と比較して23百万円の減少となりました。

負債の部では、流動負債は30億52百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億96百万円の減少となりました。これは主に買掛金が2億13百万円および未払法人税等が1億70百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は6億6百万円となり、前連結会計年度末と比較して1百万円の減少となりました。

純資産合計は102億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して8百万円の増加となりました。以上の結果、自己資本比率は73.6%となり、前連結会計年度末と比較して2.0ポイント上昇しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績につきましては、各営業本部共に今期計画を上回るペースで推移しておりますが、第2四半期以降は円高や株安の影響も懸念されるため、現段階で平成22年4月21日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、営業循環過程から外れた滞留又は処分見込等の棚卸資産で前連結会計年度末において帳簿価額を処分見込価額まで切り下げているものについては、前連結会計年度末以降に著しい変化がないと認められるため前連結会計年度末における貸借対照表価額で計上しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,152,238	3,703,613
受取手形及び売掛金	5,860,854	6,045,880
商品	2,561,901	2,281,775
繰延税金資産	73,727	113,221
関係会社短期貸付金	200,462	200,695
その他	684,840	559,916
貸倒引当金	△44,886	△49,671
流動資産合計	12,489,139	12,855,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	90,698	93,504
機械装置及び運搬具(純額)	6,730	5,793
土地	619,325	619,325
リース資産(純額)	46,599	52,415
その他(純額)	23,876	25,182
有形固定資産合計	787,230	796,221
無形固定資産		
ソフトウェア	20,367	22,474
リース資産	32,038	35,461
その他	10,128	10,128
無形固定資産合計	62,534	68,065
投資その他の資産		
投資有価証券	278,589	293,393
繰延税金資産	143,291	135,526
その他	116,161	118,319
貸倒引当金	△13	△16
投資その他の資産合計	538,028	547,223
固定資産合計	1,387,793	1,411,510
資産合計	13,876,933	14,266,942

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,550,312	2,722,694
未払法人税等	70,382	240,429
その他	431,887	486,309
流動負債合計	3,052,582	3,449,434
固定負債		
退職給付引当金	468,722	462,964
長期預り保証金	59,199	57,897
長期未払金	18,905	19,830
その他	59,836	67,818
固定負債合計	606,663	608,511
負債合計	3,659,246	4,057,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	898,591	898,591
資本剰余金	961,044	961,044
利益剰余金	8,283,360	8,262,726
自己株式	△965	△837
株主資本合計	10,142,030	10,121,523
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	78,884	87,619
繰延ヘッジ損益	△3,228	△145
評価・換算差額等合計	75,656	87,473
純資産合計	10,217,687	10,208,997
負債純資産合計	13,876,933	14,266,942

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	5,730,937	6,575,599
売上原価	4,907,460	5,562,760
売上総利益	823,477	1,012,838
販売費及び一般管理費	690,900	773,703
営業利益	132,576	239,135
営業外収益		
受取利息	1,788	522
受取配当金	1,230	1,648
仕入割引	30,253	30,910
受取保険金	33,933	—
その他	5,818	6,335
営業外収益合計	73,023	39,417
営業外費用		
支払利息	195	526
売上割引	15,445	16,671
その他	333	1,419
営業外費用合計	15,974	18,616
経常利益	189,625	259,935
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,102	4,788
固定資産売却益	—	205
特別利益合計	1,102	4,993
特別損失		
固定資産除売却損	—	19
特別損失合計	—	19
税金等調整前四半期純利益	190,728	264,909
法人税、住民税及び事業税	18,993	71,927
法人税等調整額	66,410	39,940
法人税等合計	85,404	111,868
四半期純利益	105,323	153,041

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）において、当連結グループは同一セグメントに属する自動車部品・用品・附属品と産業機械車両部品の国内販売および輸出入を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）において、本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	アジア・オセアニア	中南米	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	492,016	518,633	483,501	1,494,151
II 連結売上高（千円）	—	—	—	5,730,937
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	8.6	9.1	8.4	26.1

(注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国または地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・オセアニア……シンガポール、フィリピンおよび台湾

(2) 中南米……パナマ、エクアドルおよびグアテマラ

(3) その他の地域……中東・アフリカ、欧州および北米地域

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主に自動車部品・用品の国内販売・輸出入および産業用車両部品の企画販売を行っており、自動車部品・用品およびフォークリフト用補修部品の国内販売は国内営業本部が、自動車部品の海外輸出は海外営業本部が、産業用車両部品の企画販売は工機営業本部が、それぞれ担当しております。

したがって、当社グループの構成単位は販売体制を基礎とした営業本部別のセグメントから構成されており、「国内営業本部」、「海外営業本部」、「工機営業本部」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

(単位：千円)

	国内営業本部	海外営業本部	工機営業本部	合計
売上高				
外部顧客への売上高	4,092,969	1,858,476	624,153	6,575,599
セグメント間の内部売上高又は振替高	43,099	—	—	43,099
計	4,136,068	1,858,476	624,153	6,618,698
セグメント利益	150,684	44,358	17,438	212,480

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	212,480
一般管理費の調整額（1）	2,183
全社営業外収益（2）	36,320
営業外費用の調整額（3）	8,951
四半期連結損益計算書の経常利益	259,935

（1）、（3）は各営業本部が負担する一般管理費及び営業外費用の配賦差異であります。

（2）は主に報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。